

保育の実際

自然物の利用

大阪江戸堀幼稚園 謄

わたくしの幼稚園で自然物を保育上に利用し始めました

れを始めましてからは、從來室内で規則正しい思
物ばかりで保育せられて居ました時代よりは、幼
兒はどんなに愉快に樂しく遊ぶようになつたか知
れません。

てからは、もう二十年にもなります。子供をどう
にかして出来るだけ楽しく愉快に遊ばることが、
出来るようにと、いろいろ考へました末に、學校
の庭園の一部を特に幼兒の遊戯場に借り受けまし
て、兩天ならざる限りは、其處に出して遊ばせる
ようにして來ました。その爲めには種々の草花を
培養して、其の發育の状態を觀察せしめ、自然に
對する興味を養ふとか、或は落葉や小枝等の廢物
を集めて、種々模擬品を作つて、幼兒の構成的想
像力を養成するように努めました。これが本園で
自然物利用の基礎となつて來たのであります。こ

斯うして、四十二年の六月に園舎が新築されま
してからは、諸般の設備も稍整頓して來まして、
室内室外の保育も、共に昔日の比ではありません
けれども、然し當市のやうな人家の稠密な都會で
は、兒童はどうしても自然物に接する機會が少い
のでありますから、せめては幼稚園に於てなり
とも其の機會を與ふる事が必要であらうと、切に
感じましたので、一層植物の培養に努めて居りま
す。そして落葉や果實などを拾ひ集めて遊んで居
ります間に、自然と造化の妙味を會得せしめるよ

現今、幼兒が戸外で遊んで居ります有様を少し御話いたしますと、花園の邊りや松山の側で嬉々として戯れながら、木の葉や花瓣を拾ひ集めますと、直ぐにそれを種々な物に擬し、或は蝸牛等の小虫を見出しますと、直ぐに砂で家を作つて、其の虫を主人公に擬するとか、或は枯葉を敷いて裤子にしましたり、小枝を立てゝ家の周圍に柵を作りといふやうな、如何にもあどけない遊をして居ります。幼兒は其の虫を扱ふことが非常に親切で

叮嚀で、恰度お友達でも遇するように思はれます。又或る時は、歌を歌いながら飛び来る蝶を追ふとか、小石又は果實を集めて、小川や池の周圍を飾るとか、或は木の葉を見ればもう魚に擬し、笹の葉を見れば舟にして、松葉はその櫂とされて居ます。雜木の小枝は築山の背景や林等にされて居まして、其の利用の敏捷にして想像の巧妙なることは、決も成人の及ぶ處ではありません。「子供は成

人の師なり」と云ふ格言の眞意が常に味はれて来て、その度には尠からぬ感謝を幼兒に捧げて居ります。

自然物材料の蒐集に就きましては、初めの間は態々遠く郊外へ出て探つて来ましたけれども、此頃は幼兒の家庭でも、餘程其の趣味を感じて来られまして、御家族の旅行や郊外散歩などの折に採集して來られましたものを、御子様に持たせて御寄こしになりますし、又私共の旅行しました時は、必ず氣附いたものを土産に持つて来ましたり、又、當園の自然物利用の實況を參觀されました人々から、いろ／＼の寄贈などがありまして、今では餘り其の材料に不足するといふやうな事はありません。終りに目下利用して居ります自然物の種類を御参考までに申上げて置き度いと思ひます。

目下利用せる自然物の種類

圓形木片大中小細小四種(以上ハ試験管立チ作リシ際ニ穴

アル爲種々ニ利用シテ面白ク積
ミ方排へ方何ニモ使用セリ

檼の實

大 小

二種(積ミ方排へ方材料トス)

實(同上)

實(同上)

桐 の 實

實(繫キ方ニ使用シ又ハ豆ノ代用ニ供ス)

莢

(ポート又ハ籠ヲ作ル)

黑白石伊豫産

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

貝殻

大中小

其他數種(積ミ方排へ方ニ供ス)

梅 の 實

(積ミ方及ヒ排へ方ノ材料トス)

梧桐

夏 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

茶葉

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

藤の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

蠶の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

夏 の 實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

桐の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

梅の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

梧桐の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

茶葉の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

蠶の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

夏 の 實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

桐の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

梅の實

豆 の 實

(積ミ方排へ方ノ材料トス)

カナリ面白キ遊ナリ)

自然物貼付

(種々ナル木葉又ハ秋期紅葉ノ
採り來リテ糊ニテ財付ス普
通ノ貼り紙ト同一ナリ)

押葉押草(同上)

葉押草(同上)

葉押草(同上)

松杉檜其他の小枝は廢物の圓形木片に挿入れて積み方の際周囲の裝飾に使用す

糊土細工の焼物(最幼ノ組ノ排へ方ニ用ユ庭園
作リコレヲ焼物ニシタルモノ)

ナ作リコレヲ焼物ニシタルモノ)

室の内外

神戸幼稚園保母 佐藤満壽

從來幼稚園で使用されて居ます玩具は、重にフレーベルの恩物で御座いまして、普通家庭で用ゐられて居る様な玩具は餘り御座いません。フレーベルの恩物は組織的練習的のもので御座います、一二を除くほかは出来上つたものとては御座りカケ后コレヲ吹き飛散ス面白キ遊ナリ(コレバ種々ナルモノヲ挿入レテ遊ブ幼兒ノ挿入ノ仕方ニテ)

「俗に松かさと云ふ」(コレバ種々ナルモノヲ挿入レテ遊ブ幼兒ノ挿入ノ仕方ニテ)

具が造られたので御座いますから、いはば凡ての